



月潟若獅子杯少年野球大会
 10月17日(日)、若獅子杯野球大会が、野球連盟の協力の下、開催されました。
 今年も多くチーム参加を頂き、8チームによるトーナメント戦で行われました。
 この大会が6年生最後の試合ということ、多くの父兄が応援に駆けつけていました。
 月潟レッドビッキーズは、強豪相手に頑張っていました。健闘むなしく初戦で敗れました。この悔しさをバネに大きく飛躍して貰いたいと思います。
 トーナメント結果は、初参加の小合東レッドナイト(新津)が、分水ベアーズに競り勝ち優勝しました。
 大会を支えて頂いた、野球連盟・保護者の皆さんご苦労様でした。

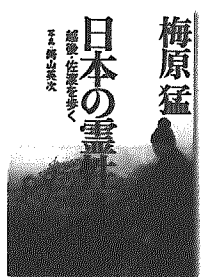


村長杯野球大会
 例年ナイターリーグで行われる村長杯野球大会ですが、今年も中学生チームも大人に交って参加するという事で、初のデイゲームで10月10日(日)に行われました。
 トーナメントで行われるとあって、各チームとも主力選手を揃えて参加していました。
 どのチームもいつも以上の力を発揮し、ホームランやハッスルプレイに歓声が上がっていました。初めて参加した中学生チームも、昨年の覇者若葉チーム相手に果敢に挑んでいました。結果は惜敗でしたが、良い経験になったと思います。
 優勝は、若葉チームが連覇を達成し、白根健生病院チームが準優勝を飾りました。

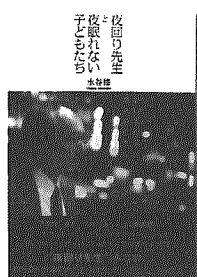


新刊図書案内

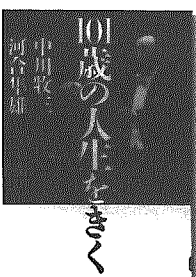
図書館司書、お勧めの4冊を紹介します



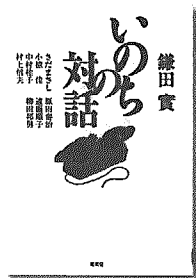
日本の霊性
 梅原 猛 / 著
 哲学者である著者が、日本人の心の基層にある深い宗教性を越後・佐渡の地で探る。



夜回り先生と夜眠れない子どもたち
 水沢 修 / 著
 子どもは大人に何を求めているのか。夜回りを続ける話題の教師が、その答を綴る。



101歳の人生をきく
 中川 牧三 / 著
 河合 隼雄 / 著
 心理学者は、101歳の現役音楽家から何をききたか。すごすぎる人生の深層を聞く!



いのちの対話
 鎌田 実 / 著
 「がんばらない」の著者が、ゲストと共に命についての熱い思いを語りつくす対談集。

映写会のお知らせ
 12月4日(土) 午後2時～
 「男はつらいよ 旅と女と寅次郎」
 監督/山田洋次
 主演/渥美清、倍賞千恵子、都はるみほか

物語の世界へ……えほんのへや
 ◎毎週土曜日 午前10時30分～
 名作絵本の読み語りをお楽しみください。

子ども放送局「チャレンジ教室」
 11月28日(日) 午前10時～
 「エッ!音が見えるの? ～発見 音の科学～」
 音の正体って何だか知ってる? みんなで音のヒミツをときあかそう!

エル・ネット「オープンカレッジ」
 ◎毎週火曜日～土曜日
 全国の国公立大学の公開講座が受講できます。
 ※視聴希望の方は、事前にお問い合わせください。



催し物

芸術作品展示

月潟村総合文化祭
 10月23日(土)・24日(日)、農村環境改善センターを会場に、総合文化祭が開催されました。
 文化協会加盟団体の他、村内の皆さんから多くの作品が出品され、毎年恒例の沿線公民館交流として、味方村・中之口村・湯東村からも様々な作品が会場を彩りました。
 最終日に協力していただいた月潟村鎌組の「刃研ぎコーナー」は、いつものとおり大盛況で、志基金ボックスには9千円近くのお金が集まり、住民課へ寄付をしました。



第3回 女性研修会



第3回 女性研修会
 10月28日(木)、第3回の女性研修会が、農村環境改善センターで開催されました。
 以前の2回で、今現在の体力を測定し、何が足りないかを十分理解してきました。
 今回は、昨年好評だった現役の看護師でもあり、なおかつスポーツインストラクターで活躍されている和氣真理子さんから、個人指導を兼ねて、その人にあつた指導や運動法などをわかり易く説明していただきました。また、看護師の立場から筋肉の使い方や、なぜ太るのか? なぜスタイルが崩れるのか? など大変興味のある話に受講された皆さんは、必死に耳を傾けていました。
 平日頃から、姿勢に気を付けながら、体のバランスを保ち、

第14回新潟市公民館合同展

市町村合併フレイイベント
 10月27日(水)から31日(日)まで、市民プラザを会場に新潟市公民館合同展が開催されました。
 今回は、来年の合併をひかえ、12市町村から多くの作品が集まりました。月潟村からは、文化協会の陶芸教室が出品しました。
 およそ千点近くの作品が会場狭しと飾られ、合併市町村の芸術力には目を見張るものがありました。



第39回 田辺杯 大健闘の末匠
 10月17日(日)、巻町で第39回田辺杯が開催され、新潟市内の強豪をはじめ、郡内の各高校・中

わんぱく探検隊

角田山登山
 10月16日(日)、以前から要望の高かった山登りを今回は角田山で行いました。
 当日は台風の影響が懸念されましたが晴天に恵まれ、16名(大人含む)が登りました。
 一番楽な登山ルートでしたが、参加者からは「まだ頂上じゃないの!」と切ない声が聞かれました。また、山の合間から海が見えると「きれい」と立ち止りながら登りました。
 ほかに大勢の方が登っていましたが、見かけるたびに子供たちは揃って「おはようございます」などと声をかけていました。
 山頂では、お弁当やおやつなどを皆交換しながら楽しそうに食べていました。

